

08

vol. 13

発行：2016年8月1日

月刊 LIVING-BIZ

リビング・ビジネス

発行所 ダイセン株式会社

- ・大阪本社 〒541-0051
大阪市中央区備後町3-4-9
Tel.06-6201-5012 Fax.06-6226-0106
- ・東京本社 〒101-0036
東京都千代田区神田北乗物町11番地
乗物町中央ビル4F
Tel.03-5289-7003 Fax.03-5289-7233
- ・中部支局・中国支局・北陸支局
・上海支局 黛森商務諮詢（上海）有限公司

穏やかで、楽しく、 健康的な生活

いつの時代も人々は、
穏やかで、楽しく、
健康的な生活を求めてきました。
「LIVING-BIZ」は、人々のそんな願いに
寄り添うリビング業界の
情報をお伝えする専門紙です！



illustration : Katsura Ayaka

変化・進化する眠りの提案

寝室含めトータルに

建築分野との連携強化

寝具だけでなく、寝室を含めた眠りの提案が広がりつつある。建築分野との連携が欠かせないが、寝具寝装業界に新たな可能性が広がっている。快眠空間をトータルに提案する取り組みを紹介する。



自社で建築事業展開 快眠とくつろぎ空間提供 大東寝具工業

寝具メーカーの大東寝具工業（京都市）には、住宅・リフォーム建装事業部がある。「soya（そや）」の屋号で、住宅の新築やリフォームを手掛ける。建築事業を行う寝具メーカーは稀有な存在といえるが、眠りのための空間作りや天然素材へのこだわりを武器に広がりを見せていている。



寝具と寝室空間を併せて提案

同社は1925年創業の老舗寝具メーカーだが、大東利幸社長が寝具メーカーの枠組みにとらわれず、「快眠やくつろぎのための空間・環境」を提供するという発想を取り組んできた。90年にはカーテンや室内装飾を扱うインテリア部門を立ち上げ、建築事務所などとも取引を広げる中で、寝具のみならず、寝室を含めて眠りをトータルに提案していくベースを醸成していった。

それを具現化する契機になったのが、大東社長の弟で専務の大東康文氏が2011年に入社したことだ。康文氏は家具店を経て、工務店に18年ほど勤めた経歴を持つ。その中で培ったノウハウを生かし、寝具メーカーならではの建築事業を11年秋から展開する。

寝室作りでは、施主の生活スタイルを踏まえながらコンサルティングし、「1つの空間を共同作業で作る」（康文氏）ことで、それぞれに最適な窓回り、照明、空調などを提案する。

窓回りは窓の高さや位置、季節による温度変化を抑えるための窓素材、採光や遮光を調節するカーテンなどにポイントを置く。照明は、間接照明や足元への設置などで工夫。空調は、ファンを付けてゆっくり空気を動かすことで体感温度を下げることや、直接体に当たらないようにするなどの提案を行う。また壁には、珪藻土や吸湿性のある壁紙を活用し、湿度をコントロールする。さらに寝具そのものも提案することで、眠り環境をトータルに整える。

同社の寝具を購入している顧客が、寝室のリフォームを依頼することもあるが、顧客全員が当初から寝室に関心があるとは限らない。soyaでは一般的な新築、リフォームも手掛ける。どうしてもキッチンやトイレ、風呂など水回り、リビングへの関心が高いが、1日の3分の1ほどを過ごす寝室の重要性も伝えることで受注へつなげている。

費用は改装か改築かによって幅があるが、照明、空調、壁紙などの見直しでは100万円以内に収まると言う。

同社が本社を構える京都は、訪日外国人の増加で賑わっている。soyaでは、活況をみせるゲストハウスにアプローチし、寝具から空間全体までトータルに手掛けた寝室などを提供していく考え方でさらなる浸透を図る。